

一丸で守る

# 私たち女性消防官も



# 住民の安全・安心を守ります



私は、学生時代に各地で発生する災害を目にし、安全安心は当たり前ではないと考えさせられました。

そこで、生まれ育った青森市で、住民の安全安心な生活を守りたい、誰かの助けになる仕事がしたいと考え、消防士という職業を目指しました。

現在は、消防隊として火災や救助、救急現場など様々な災害へ出動するとともに、建物の防災・防火上の不備の改修を指導したり、立入検査を担当しております。市民から頼りにされる消防士となるよう努力するとともに、「女性だからできること」を考え、自分ができることから進めております。

私を含め5人の女性消防士とまだまだ少ないですが、安全安心の活動に必要な「女性だからできること」を、ぜひ青森消防と一緒にひろげていきましょう。

中央消防署 金澤消防士（平成29年度採用）

私は、学生時代に発生した新潟中越地震で、過酷な現場で活動するレスキュー隊がとてもまぶしく見え、感動したのがきっかけで、消防士という職業に興味をもちました。また、小さな頃から続けてきた水泳で培った体力を生かしたいとも思っておりましたので、進路を迷わず消防士に設定し、猛勉強の末、夢をかなえることができました。

現在は、浪岡消防署で火災や救助、救急現場など幅広い災害へ出動するとともに、事業所への立ち入り検査や防火意識の普及啓発などを担当しております。

昨年度、県消防学校の救急科を修了し、今年度から本格的に救急隊にも配置されることとなりましたので、女性だからできること、私だからできることを、追求し、より精進していこうと思っています。

浪岡消防署 風穴消防士（平成29年度採用）

